私の放送人生」 第 4 回

元中部日本放送プロデューサー 敦氏

部日本放送の名プロデューサーと ブの松谷 敦氏です。コロナ禍の影 して活躍された、現東海民放クラ できず、特別寄稿となりました。 お会いしてのインタビュー の放送人生」 第4回 は、 中



代だっただけに…。 娯楽も全くない、 け慰められた事か、

暗く、

時

食糧は勿論、 悲しい

路子の明るい歌声に人々はどれだ

作

『そよ風』の主題歌)、並木

私の放送人生を貫くもの

番組制作が好きだった //

放送志向の

れる『リンゴの歌』(戦後邦画第 に唇よせて…*と、ラジオから流 夢も希望もなく辛い時代だった。 がるモンペ姿の買出しの人達の姿 を背負い、 あの荒涼とした日本の風景が が…。惨めだったなああのころは。 人達。そして大きな袋やリュック 市の中を物欲しげに歩く復員姿の かに浮かんで来る。 になる。今でもこの日が近づくと、 そんな頃、街々に "赤いリンゴ 私も家は焼け、 あの終戦 汽車のデッキにぶら下 食べ物もなく、 の日から75 焼土に立つ闇 年

だが、 が行われた程の食糧難が続いてい だ生活物資もなく、 の序曲』そして『カサブランカ』 ると洋画(『キュリー夫人』『春 多感な頃だった。翌昭和21年にな れ今迄の国策 『望郷』など)が、 当時、 夢中になったものである。 私は 頃になっても、 映 旧制中学の4年生で 一画にない、 どっと輸入さ 食糧 ブー 新鮮な まだま

> ことが出来た、庶民の生活になく だったかも知 こんな処が、 する日本の現状を、いち早く知る 鐘』『みかんの花咲く丘』といっ も懐メロとして年配の方の間で歌 べて N H K の泉』であったり、 てはならない貴重な存在であった。 く世界情勢を、そしてアメリカナ 前に座って聴いたものである。 た歌の数々を家族揃ってラジオの われている『青い山脈』『長崎の の鳴る丘』『向う三軒両隣』 流 イズされた民主化へと激しく変動 この頃のラジオは娯楽だけでな れる『素人のど自慢音楽会』 での唯一の など、それに、 私の放送志向の原点 楽しみは 連続放送劇『鐘 ラジオから 今で T



松谷 敦氏

年在学中だったが、

中部日本放送

中部日本放送との出逢

が、こんな苦しい生活

0

る。 昭和 送の黄金時代と言われる時期であ の開局が続き、ここからの約10年 中昭 生した。やがて全国各地に民放 部日本放送、 3 0 和 (年台後半までは、ラジオ放 26年9月、 新日本放 初の民間 (送) 放 が

誕

ども視たい番組あれば ってなことだった。 にテレビを置く程であった。私な なく、レストランや商店が客寄せ も庶民の手に入るようなものでは にしろ受像機の値段も高く、 たのを覚えている。 に人々が黒山のように群がってい 継などは人気の的で、 送も始まり大相撲、 この間、 昭和 28年からテレビ その プロレスの 街頭テレビ "会社で" 頃 は、 とて な 中

われる程話題になったものだ。 街の銭湯の女湯が空になったと言 月、ラジオから、 はメーデー事件、各地での火炎ビ 約の発効の年であったが、 定な時期でもあった。この ン事件など、まだまだ世情は不安 $\overset{\textstyle \widehat{N}}{H}$ 昭和27年、この年は日米安保条 私はこんな年の K)の放送が流れ出すと、 あ の『君の名は 旧制大学3 国内で 年の 4

とになった。 といった好条件で、 作課社員見習いとして入社するこ 少し足りなかった上に卒論もあり かくして7月1日付で、 験に応募、 一日は学校へ行かせてくれる、 公募の 在学中でまだ単位が 幸運にも合格したの デュー 有難かった。 放送部制 ĺ 採用

だ人手も足りなかったので、新人 それに週に一日は宿直をして、 先輩の番組作りの見学・手伝い、 \mathcal{O} 時 軌道に乗り始めた時期だった。当 問視されていた民間放送もやっと 商売なんて成り立つのか? ンサーが付くのか? 頃はプロデューサーと言っても、 局から半年、 の進行係までやったもので 従業員の数も少く、まだま 発足当時、 時間を売る と疑 スポ 番

そして早朝 継ぎを終え、 -後7時 副調でミキサーの横でCMソン 番組テープ・レコードなどの引 昼の自分の仕事が終わった後、 読む生CMに合わせて、 頃から編成進行担当者と 朝早くに のがあって、 は6時から9 夜中の放送終了まで。 ″ご案内″ アナウン 時 い過ぎま 0

> だけでも難作業だった。 は内側から廻っていくタイプ)や 切 11 S などが混在していて、 ドーナッツ盤、78 回転のレコード うた 33 ったものだったが、 かえ廻してはキューを出すと 回転のCMソング(これ レ コー K を、 正 カッターで とつ 確に廻す か

ど、なんとか許された時代でした。 笑い話になる失敗も随分あったけ 手で引っ張って…。なんて今では サーと二人で時間終了まで必死に って。またある時は、放送中にテ 口 鹸 モ・モ・モ… なんて、 時々、 [転に戻し ″モー のCMでしたか、 プが切れて、さあ大変と、ミキ 回転数を間違え、 · オ、 牛の声が モーオ…# 慌てて33 牛乳 石 "

い よいよ番組作り事始め

準一 等 屋』(週一3分)、連続児童劇『幸 で楽しく夢中になって番組を作っ 憶している。その後も続けて与田 福の王子』 向 組を担当することになった。子供 に けの番組である。 私 『公衆衛生 はその年の9月から初めて番 とにかく毎 他 一の時間』だったと記 十一番目のザボン』 (週 一 百、 3 0 『子供のお部 分)、それ から晩ま

たも L (週 昭 和 \mathcal{O} であ

この森繁さんとの出合いは、私に のあれこれを教えられた私の初期 とってセリフの間の大切さや表現 漫画をドラマ化した『拳骨権兵衛』 れっ子の森繁久彌さんを迎え、楽 思い出の作品である。 い番組をつくることが出来た。 29年暮には、 30分2クール) に当時売 田河水泡作 \mathcal{O}



CBC ラジオ時代

詩人と組んでオリジナルの純ドラ やがて東西で活躍している作家・ マを作るようになる。 赤木春恵といった錚々たる人 頃からは、在名の放送作家に、 出演者も劇 重吉、 筒井敬介、 小 沢栄、 団 伊藤海彦、 C B 茂木草介さ 山岡久 DCを中

この

のか、好きなように番組を作らせ てくれたものと、 よく言えば、若い私達に期待した いただいたものと、それに会社も、 よくもこんな若造に、 している。 達を迎えて、本当に恵まれてい 今更ながら感 おつき合い

ラジオの黄金時代を謳

0

とか、八木柊一 比呂志さん達と、ラジオ・ドラマ 詩人、谷川俊太郎、 を作ってみた。 やゝ実験的な様 義一作)とか、 ヤンブルのための一考察』 してみるといったものとか、 全編に流 プランドの『アパラチアの春』を ラー・オムニパス『赤・白・青』 らイメージされる人生を描いたカ 白・青の三原色のそれぞれの色か デン劇場』 (単発30 枠『カトレヤ劇場・CBCゴール 能性を考えるとか言って、若手の 昭 和32年頃からは、ラジオの し、そこにドラマを構築 詩劇の試みなど… 郎さんとA・コー 々な形態のドラマ 川崎洋、 分で、 (藤本

ダン・ジャズのための詩 濃く反映した寺山修司さんの、 る作品の一つに、 今も私の中に最も強く印象に 当時 \dot{O} 世相を色 『壁に

乃心な

藤本義

など、

を』がある。

ャズにぶつけて描いたものである。 辺に充満する若者たちの、 代を背景にした作品で、 井三池の労働争議など社会不安が とも大変刺激的な作品だった。今 は行動に移る、広場にある偉人像 生を奏でる、差別された者の怒り、 各パートのソロが、それぞれの人 彼等の青春の懊悩が浮き沈みする メン、演奏するジャズと絡ませて、 充満していた頃である。こんな時 向だった。国内でも安保闘争、 反対する若者達の反乱は世界的傾 れる若者達』といった既成秩序に の "ビート族" ない怒り、 向った、といったもので、 社会の変革を夢みる若いジャズ 世界危機が叫ばれ、 よくこの手の作品を作らせて ったものである。 ステージが終ると、彼等 女の裏切り、 若いんですねー。 叫びを、モダン・ジ 、イギリスの 3 5 キュー 自由への反 年 社会の底 頃 アメリカ やり場 -バ革命 \equiv \mathcal{O} 開 面

作った。こうして私は児童劇からやミュージカルや詩劇なども沢山勿論、従来からの正統派ドラマ

送 • 多様な番組を、 ニーズの旅番組などなど実に多種 ながらレギュラーで聴取者参加 に楽しんで作って来た。 公開番組· ・ラマなど、 じまって、 深夜の生放送、 単 一発の歌 ゴー ドラマを中 それも、 ル スポンサー・ 番組 デン それぞれ -心に置 ·学校放

る番組をご紹介する。 ま、そんな中で印象に残ってい

ちゃん、エ す。 見事に禿げ上がった息子のツルツ で 細めてニコニコ楽しそうに笑って 入ろうとするのですが、 ルの頭をパチンパチンと叩くんで 子供のころからやんちゃでね」と、 移るといきなり、「この子はね、ても和やかに、やがて家族の話に 引かれて舞台に登場。 いい0歳になる息子さんに手を んの飾らない初恋の話に会場はと (週 1 30 番組 るんです。 息子さん大きな体を縮めて目を の話。8歳になる小柄なおばあ 6 司会は吃驚!あわてて止めに 年半も続いた聴取者参 「おばあちゃんと一緒に」 頭の禿げあがった恰幅 分) のある会場での一場 これには会場大爆笑 おばあちゃ なんとこ 加 \mathcal{O} 公

また、こんな出演者も思い出に

での 単 発 二つの双子のおばあちゃん。 唄に合わせて乙さんが踊る、 楽しいお話の後、甲さんの歌う端 よく間違われちゃってね」と。 子なんでね、 甲さん乙さんという小柄な、 い番組でした。 とも微笑ましい場面の連続で、 って いる。 着物を着た お互いの恋人にも、 8 0



おばあちゃんと一緒に」

半まで、 ある西洋館では、 うちゃん」(岩間芳樹作 賞作に恵まれ、中でも昭和 ラマを何本も作らせてもらった。 0 日 た。この間、私は芸術祭参加 そして幸せなことに、多くの受 で芸術祭賞を、 本の子供の詩による構成「おと 昭 和 20 愛知県 まさにラジオの黄金期だ 年代後半から3年代後 尖山 そして、 その後ろ、 市 明治村に 昭 和 45 構成) 3 6 年、 K

。過ぎの うり 双 ジオ時代の勲章であり、こん 賞をいただいた。これは、 せなことはないと思っている。 描いたドラマ「ブルーム・ハウス」 ることのない女性の愛と悲しみを 人館 (岸宏子作) でまたまた芸術祭大 る日 を舞台に、 の明治を象徴している異 本家屋、このまさに文明 いつの 世にも変わ 私のラ . な幸

じまりである。 リンピックに日本中が湧き上り、 成婚の中継を見たいと受像機は 付けにされたテレビ黄金時代の 庶民の目はテレビ受像機の前に釘 東名高速道路開通、 東海道新幹線(東京-大阪)が開 来るようになった。昭和39 を越え、家庭の茶の間にも入って なくなる程で、 ぶように売れ、 テレビは、昭和34 受信契約も百万台 小売店では在庫 そして東京オ 年の皇太子ご 年には 通 は が 飛

ク 不 例して、ラジオは聴取者数も減 手間と経費のかかるドラマなどパ ターラジオの普及もあって、 聴かれ方も変わった。 しはじめる。この頃からラジオの このテレビの急速な発達と反比 況と言われ お茶の間から個人へと移って 和 40 年 代は、 社の方針もあ トランジス オリンピッ ラジ

った。 中で私も、 そして若者個人を対象に語りかけ ながら族向け、ドライバー向け、 やったものである。 タジオでの生放送など、なんでも や、ラジオ小説といった文芸もの、 る深夜番組へと移って行った。 「開の音楽もの、サテライト・ス ケー 当然のことながら、この流れの ・娯楽系ワイド番組が主流とな -ジ物 仕事をしながら 若者向け深夜の生放送 は 少なくなり、 0

して。47年の東京支社への転勤で終了47年の東京支社への転勤で終了かくして私のラジオ時代は昭和お保祭ものといった有様だった。ドラマは年間数本の純ドラマと

忘れられない出来事の数々

りと大きな被害を与えた。あの日りと大きな被害を与えた。あの日りと大きな被害を与えた。あの日りと大きな被害を与えた。あの日のこと、今でも9月末になると思のこと、今でも9月末になると思い出す。

抜ける強風(風速45・7mを記録)自動車が、ビルとビルの間を吹きあの日、会社の前の通りを行く

と死の街でした。乱し、折れた電柱に垂れ下る電線には家の屋根だったり、看板が散けて、台風の過ぎ去ったあと道路

出掛けたところ、 た。 いる、 こに遺体が、 内を横切る国道一号線から南は水 浮かんでいる。そして、そこかし ら流出したラワン材と絡み合って 没し海だ!海の中に家が貯木場か 翌日 材のためデンスケを担ぎ取材に 筆舌に尽くし難い惨状だっ 私たちも災害関 家財道具が浮かんで なんと名古屋市 連 \mathcal{O} 番組

だ立ち尽くすばかりだった。なのか、知人なのか、泣きながらなを一寸上げ、覗き込んでいる人にを一寸上げ、覗き込んでいる人のながのが、対きながらがなががががが、ご家族のでは、無数の近くの小学校校庭には、無数の

が建っている。今でも"クツ塚"として慰霊

名古屋の街の歌『白い街

し合 た。 さんに唄ってもらうことが決まっ た。並行して、レコード各社と話 ックな、美しい詞を作ってもらっ 也さんにお願いして、 古屋の歌をと思い、 と言われているので、 ら "名古屋の街は歌にならない" ブームになりかけた頃 瀬ブルースなど御当地 い、 和 4 2 私の希望通り石原裕 年、その頃は岐阜・ 旧知の内村直 ロマンティ で、 なんとか名 ソングが、 以前か 次郎 柳 ケ

私はどうしても、この名古屋の歌をヒットさせたいとの思いからライバル局でもある東海ラジオさんにこの企画を持ち込み "名古屋をお願いし快諾を得て、共同企画をお願いし快諾を得て、共同企画をお願いし快諾を得て、共同企画をお願いし快諾を得て、共同企画をお願いし快諾を得て、共同企画をお願いし快諾を得て、共同企画をお願いした。

時に売り上げは7万枚と好結果に声が流れ、嬉しかった。発売と同ちゃんの歌う『白い街』の甘い歌9月に入って両局から毎日、裕

てくれた。 …白い街~名古屋の街よ♪と歌 彼方の、 そんな様子は、みじんも感じさせ 脚を包帯でぐるぐ巻きで駆けつけ 場には、裕ちゃんはまだ杖ついて、 中に怪我をして延期となり、 てくれたが、流石、ステージでは、 なった。 イーショーとして実現することに て12月、歳末たすけあいチャリテ 裕ちゃんが に発表会を行う予定だったところ、 なりホットした。ところが、 颯爽と、♪この道の、 1 2 雲流れる下に幸せがある 月の発表会の記者会見 『黒部の太陽』 はるか の撮影 10



白い街発表会 歌う石原裕次郎

昭和45年5月のCBC本社火事

"と、そんな馬鹿なと思いながらまCBCから煙が出て大変ですよ拾ったタクシーの運転手が、 "い同僚の結婚披露宴に出席した帰り、司は子供の日、名古屋駅前で当日は子供の日、名古屋駅前で

テレビマスターの地下の 々と出社した社員みん 口から噴き出してい 駆けつけると、 黒煙がなんと 機械室の

す

を持ち出 みんな必死だった。ラジオは直ち でLPレコードを流し続けた。 オマスターに飛び込み、 テレビはマイクロの東山端局から に鳴海にある送信所に機材を持ち *放送を止めるな* その思いから 接テレビ塔の送信機に送り込む 音テープ、 仮スタジオで放送を続け、 テレビ塔からの直接 ある者は暗闇のラジ ビデオ等、 火災は9時 無人の室 放送素材 間くす

旧 3日後にはテレビ・ラジオとも 放送するに至った。

レビの黄金期の東京支社時代

ここではテレビの編成が主でテレ この :セクションとの情報交換に終始 制 和 心の調整、 頃はテレビの黄金時代で、 ら系列局とのネットに絡む 局 4 7 の窓口でもあった。 年、 東京支社編成部へ。 自社制作番組 そして系列 映画をはじめ、 局の 0 他 制 販 作 編局 成

費ひとつ取っても、こんなに違う同じ会社でも、部署が違うと製作 組作ってたもんですから、正直、ね。今まで切り詰めた製作費で釆 数が違うんじゃあないか?」って 制作費の違いだった。 て来た人間がテレビの世界に放り ような気分でおれた時代である。 聴率番組がズラリと並び、 込まれ、まず吃驚したのは、 **『**ザ・ かと考えこんでしまった。 。ありがとう』など、 時間ですよ『寺内貫太郎 ラジオで番組作り一筋に過ごし 局TBSの『八時だよ全員集合』 当 つである私達は大船に乗った 今まで切り詰めた製作費で番 ベストテン』、ドラマでは ゴ] ルデン・タイムにはキ 「え、 話題の高視 系列局 0 の 番組

 \mathcal{O}

 \neg

た事 来て、 く多くの 方と、そして系列を越えて、 それはそれとして、 キー局はじめ、 後々私の財産になった。 方々と出逢 系列各局の 東京支社に 知り合つ 巾広

そして一年後にテレビ制 年に本社に戻り、テレビ

テレビでも何でも屋プロデユーサー

ビでの番組制作づくりがはじまる。 昭 和 53 ここから、また私の テレ

それに、 子、 て、 フィルの『ニューイヤー・コンサ ティーを。ローカルでは、名古屋 笑いだけでなく一寸捻ったバラエ 口靖子、五木ひろしなど)など、 か?』(森繁久彌、 を考える『あなた東京が好きです り上がった頃、東京の一極集中化 ラエティー』(坂上二郎、 結婚披露宴を舞台にした『方言バ 賀新年名古屋から愛をこめて 画として名古屋発の新春番組 話題になった頃、逆手にとった企 の対象に、 が多く、タモリが名古屋をギャグ 0 モリ』とか、 ここでは に何故か ト』、西川流の『名古屋おどり』 新沼謙二など)、遷都論で盛 色々な番組 スポーツ部があるという 私 トークショーを展開し 「頑 お国言葉の氾濫する プロ 張れドラゴンズ』 を作った。 デュ 伊東四朗、] 松田聖 ĺ 発物 三莲 沢



「方言バラエティー」



「あなた東京が好きですか?」

アイシテル』(石黒賢、 賞)、ミュンヘンと日本を舞台に ペシャルドラマ『父のバイオリン』 すね。でもいろんな番組を作るこ 同じ、何でも屋プロデューサーで 他)など、考えてみればラジオと したドラマスペシャル『ケイコ・ 3 6 ール、マレーシアを舞台にしたス とが出来て、これもまた楽し (かとうかずこ、竹中直人他 回民放大会・ドラマ部門優秀 ドラマは名古屋とシンカポ 有森也実 かっ

忙しかった。昼帯では、 これを年間2作。 ケ月準備 昼の帯ドラマ(15 和 5 9 年 この繰り返しで、 から平成2年までは、 3ヶ月作って3 分週5、3ヶ月)、

心とした家族の話にした。 はなるべく避けて、

居している娘婿であったとは、 像を描きたいと思った。定年後、 どの方々をメインにいろんな父親 生き方をする3人の娘たちに振り またフランスでの修行を終え、 再採用された職場の上司が何と同 などである。 まわされる父親の悩みはつきない 和菓子屋の親父さん。それぞれの 金髪の美女で、 した息子が連れて来た婚約者は 子信雄、 中条静夫、下條正己、 家庭内での父親の戸惑い。 藤岡琢也、 おろおろする老舗 坂上二郎な ナ 帰 職



連続ドラマ「娘たちよ」完成披露

年頃になってきていました。 て作品の父親の姿が実感出来る この頃には私自身も定年 -近くな

退職後も番組制作三 一昧の日 Z

父親を中

った。 は勿論、 人気台、 旅好きの 紹介コー を作った。この番組では、 わせて9年半と、深夜の長寿番組 番組『パチンコNOW』、 正面から取り上げたパチンコ情報 全盛期を迎えていたパチンコを真 分 『パチンコNOW2』 (週一回15 頃、庶民の娯楽の 社』を設立する。 平成2年退職後、 全国20局番販ネット)と、合 新台の徹底分析コーナー 私にとって楽しいものだ ナーがあり、 全国各地の話題のお店の 一つと言われ、 ここでは、 制作会社 その取材が 話題の 続いて // 悠 あ

楽しくね。やはり番組を作るのが こが知りたい』、ドキュメンタリ 好きなんですね。作家が物を書き、 TBS系昼帯ドラマ『危険な再会』 憲男、小原孝)を3年半。 ニストの佐々木伃利子プラス前田 平 成 22 (月~金3分)とか、単発で『そ ・など、結構いろいろ作って来た、 サロン』 (週一回15 家が絵を描くのと同じように…。 並行してロー 悠悠自適とはいかず老々介護 年 "悠々社" カルで『名曲ピア を解散。 分) (ピア それに

> Ŕ いでしょうね。 放送と共に生きたと言っても、 のだから…。私の人生の殆んどが、 い出がいっぱい詰まっている。 テレビは18 それ まだ鮮やかに心に残っている 思 いでした。 番組に思い入れがあり、思 い返しても、 しても、 ラジオ時代 独立して 20 年と、 それぞれの時 放送とは1 長い付 20 年、 今

ラジオとテレビへの一

も欲しい。ラジオは時間、 そんな"心の劇場"みたいなもの 音響、そして沈黙の空間を生かし 持つもう一つの特性、声、音楽、 報は満載されているけどラジオの う意味での、 個人に向け語りかける、伝達とい 中予 自在だから…。 て聴く人それぞれの心にひびく… 報、 今のラジオは、 のいい話、 交通情報、 社会生活に必要な情 面白い話などなど、 ニュー 娯楽情報、 っ、、 空間は 天気

松谷

敦氏の放送人生

愛知県豊橋市生まれ

父の転勤で韓国へ。

1 9

 $\frac{4}{7}$

年

1952年

テレビに私の夢を

喜びでしょう。 料理 もうひとつ楽しくなるでしょう。 うこと、これが出来たらテレビも、 ますよ。 テレビから匂いが出ないかとい いまや、 化粧品のCMなど、 人生が楽しくなり 宇宙まで行ける 大

1

978年

局

9 9

0年

中部日本放送退職 本社編成テレビ制作

制作会社

「悠々社」

設立

1972年

東京支社編成部 ラジオ制作部 中部日本放送入社 旧制愛知大学法政科卒 旧制都立第9中学校卒 その後東京中野で育つ

2

0

1

0

年

悠々社解散現在に至る

時代。 いなこと実現する時代になってい の世界だったのに、こんな夢みた まさかですよ。 るのですから。 宇宙なんて昔は大空の この夢も、 まさか 向う



数々の賞を受賞(中央)